



# ～牛の快適性で、利益を生む方法～ 年間泌乳目標、経産牛一頭当たりをいくらで設定するか!? 何事も変えようと行動しなければ変わらない!!

春はもうすぐ、牛にも人にも一年で一番過ごしやすい季節となりました。時候の良い今だからこそ年間計画を見直してみましょう。今回は経産牛一頭当たりの年間成績目標について考えてみたいと思います。

## ■春先は一年のうち、最も乳量が出ていますか？

検定成績の一枚目には、過去13か月の牛群構成や検定日の乳量・乳成分等が掲載されていますが、皆さんの牧場での冬から春先にかけての乳量はこの季節と比較するとより多くの乳を生産出来ているのでしょうか？例えば購入飼料の内容や給与方法が年間通じて大きく違わないのであれば、乳牛にとって春先は快適な気象条件であり、つまり、牧場における飼養管理環境下で最も費用対効果の高い時期だということになります。

(表1)

移動 13ヵ月 成績 検定年月日	牛群構成						検定 乳量 / 出荷 乳量	検定日成績 / 搾乳牛1頭平均								
	経産 牛	搾乳 牛	搾乳 牛率	搾乳 日数	頭数	初産 雌		標準 乳量	乳量	乳脂 率	蛋白 質率	無脂 固形 分率	MUN	P/F 比	濃厚 飼料 給与量	
30.02.	24	21	84	197	3	1	1	90	26.8	23.1	4.16	3.49	8.88	9.0	0.84	11.4
30.03.	26	22	85	196	2	1	2	90	28.8	24.4	3.99	3.34	8.73	8.6	0.84	11.5
30.04.	25	23	94	209	1		1	85	27.1	23.7	3.89	3.15	8.64	12.8	0.81	11.5
30.05.	25	23	92	225	1			93	28.9	25.1	3.93	3.28	8.70	13.5	0.83	11.6
30.06.	25	22	91	239				93	27.7	23.2	3.96	3.29	8.71	13.6	0.83	11.5
30.07.	23	20	90	271				96	27.9	22.2	4.01	3.39	8.86	10.8	0.84	11.6
30.08.	22	18	83	264	3	1	1	92	26.4	20.1	4.02	3.38	8.84	12.8	0.84	11.4
30.09.	23	18	76	243	4	1	2	99	25.1	19.7	3.97	3.39	8.82	13.1	0.86	11.1
30.10.	23	19	85	216	2	2		88	26.3	20.7	4.27	3.42	8.88	9.8	0.80	10.7
30.11.	24	18	84	181	4	1	2	90	28.8	23.9	3.89	3.24	8.70	11.9	0.83	10.7
30.12.	24	21	83	183	2		1	90	26.3	22.2	4.10	3.35	8.85	10.2	0.82	10.8
31.01.	24	22	93	181	1	1	1	85	24.8	21.2	4.30	3.39	8.87	10.7	0.79	10.5
31.02.	24	22	94	191	1	1		95	25.6	22.4	4.09	3.30	8.78	8.1	0.81	10.7
平均・計	23.5	21.0	87	217	23	8	11	91	27.0	22.6	4.04	3.34	8.78	11.4	0.83	11.2
前年成績	24.8	22.4	90	243	18	3	14	96	27.2	22.8	4.05	3.37	8.81	10.0	0.83	11.1

ここで、生産者の皆さんに成績表で確認して頂きたいのが「検定日成績/搾乳牛1頭平均乳量」です。表1では、春先2月から5月までの搾乳牛一頭当たりの乳量が、他の季節と比較すると高い現状であったことが確認できます。

では、今回のテーマ。年間泌乳目標について考えてみましょう。この牧場では経産牛が最大26頭まで繋養出来て、平均搾乳頭数は平均21頭です。物理的に限られたスペースでどれだけの費用対効果を得られるか。つまり「年間出荷目標乳量を何キロに設定するか？」で生乳販売売上額、要するに「入りの金額」が決まります。「いや～乳がでんのんよ～」とも言われそうですが、いやいや、何事も変えようと行動しなければ変わりません。

(表2)

月	経産牛1頭当たり年間成績				
	乳量	乳脂率	蛋白質率	無脂固形分率	P/F比
2	7421	4.05	3.40	8.83	0.84
3	7445	4.04	3.39	8.83	0.84
4	7491	4.05	3.39	8.82	0.84
5	7539	4.05	3.38	8.81	0.84
6	7571	4.04	3.38	8.81	0.84
7	7563	4.05	3.39	8.82	0.84
8	7520	4.06	3.40	8.83	0.84
9	7418	4.07	3.40	8.83	0.84
10	7357	4.07	3.38	8.82	0.83
11	7300	4.06	3.37	8.80	0.83
12	7306	4.05	3.35	8.79	0.83
1	7334	4.04	3.34	8.79	0.83
組合	9150	3.92	3.27	8.74	0.83

## ■目標確認は1年後に！

「年間目標」といっても、現実的に達成出来る数値にしましょう。検定成績には、あなたの地域・都府県などの経産牛一頭当たりの年間平均乳量が成績表の右側に表2の内容で表示されています。もし、あなたの牧場が地域(検定組合)平均と比較して低いようであれば、所属している検定組合の数値を目標にすると良いでしょう。この事例のように地域との差が大きく乖離しているようであれば、一年後にプラス1000kgアップを目指すなど、実現可能な目標設定として下さい。目標が決まったら、次は牛の置かれている住環境の見直しです。

5月号では、目標を達成する為の飼養環境ほか見直しポイントについて触れる予定です。

詳細は岡山種雄牛センター(電話 0868-57-2475)岡橋までお問い合わせください。